

令和7年度 園経営計画 足立区立緑町保育園

園長 高橋 かづき

1 園の経営目標

- (1) 主体的な遊びや様々な経験を通して、創造力あふれる子どもを育てる。
- (2) 子どもの健やかな成長を願い自らの保育を振り返ることで日々の活動の充実を図る。
- (3) 保護者、地域から信頼され子育て支援の拠点としての役割を担う。

2 園の現状

- (1) 一人一人の人権や主体性を尊重し、安全かつ安心して過ごせる保育環境作りに努めている。
小規模園のため、1歳～5歳児まで一緒に遊ぶことが多く、小さい子が大きい子に優しくされたり、憧れたりしながら遊びを通して交流をもつことができている。
- (2) 一時保育の利用者はリピーターも多く、月1回の園庭開放(マイ保育園)の参加者も増えてきている。また、行事への参加や園庭開放の利用を積極的に呼びかけたことで保育園が心地良く安心できる場になっている。今後も、さらに地域の子育て支援に貢献していく。

3 今年度の重点的項目

重点的に取り組んでいきたい事項－1

人権を尊重し、子どもとの関わりを大切にする

具体的な取り組み

項 目	具体的な内容
(1) 子どもとの関わりを大切にしたい人権教育を推進する	ア 保育実践振り返りシートを活用しながら職員と意見交換を行い、保育者の気づきや課題を明確にする。 イ 職員会議で人権や職員の言動について話し合い保育を振り返ることで、職員の人権意識を高めていく。
(2) 一人一人の子どもと丁寧に向き合い自己肯定感を高めていく	ア 安心した環境の中で過ごせるよう、子どもの思いに寄り添い共感し、肯定的な言葉かけを行う。 イ 一人一人の子どもを認めて愛情豊かに関わり、自己肯定感につなげていく。

重点的に取り組んでいきたい事項－2

子どもが主体的に遊べる環境を作り、生活や遊びの充実を図る

具体的な取り組み

項 目	具体的な内容
(1) 子どもの発達を考慮して主体的に遊べる環境を整える	ア 一人一人の子どもの成長発達、興味・関心にあった遊具や道具、素材の選択、提示の仕方を丁寧に行う。 イ やってみたいと思う気持ちを大切に、子どもが自分で遊びを選び満足するまで遊べるよう環境の見直しを行う。(年6回)
(2) 職員の教育・保育の質の向上を図り生活や遊びの充実につなげていく	ア 子どもの育ちの捉え方や援助、環境構成について日々振り返り、子どもの姿の共通理解を深める。 イ 研修への積極的な参加、自己の学びをさらに深める。

重点的に取り組んでいきたい事項－3

保護者・地域・専門機関との連携を図り情報発信を行う

具体的な取り組み

項 目	具体的な内容
(1) 子どもの様子を保護者にわかりやすく発信していく	ア 園行事、日々の子どもの活動をタイムリーに情報発信し保護者に信頼され、安心して園生活を送れるようにする。
(2) 関係機関との連携を図る	イ 地域や看護師、専門機関、近隣保育園や小学校と連携し、情報共有を図りながら支援児保育や歯科事業、幼保小連携活動などに活かしていく。

園経営計画補足資料

※補足資料は、経営計画本体以外に課題や取り組みがある場合、記入をしてください。

※ホームページに掲載するのは、経営計画本体のみですが、補足資料についても個人情報に記載しないようご注意ください。

項目 1	幼保小連携活動への理解を深める
(1) 公開保育や学校公開などへの積極的な参加、近隣園や小学校への交流などを進めていく中で幼児教育から学校教育へ滑らかに移行できるよう全職員で理解を深めていく。	
(2) 就学前施設・小学校職員と連携し子どもの姿や双方の教育・保育内容を共有し互いの指導に生かしていく。	

項目 2	子どもたちの絵本への親しみを深めていく
(1) 絵本の点検と入れ替えを定期的に行い読書の環境を整え絵本コーナーを充実させていく。	
絵本だよりを発行（年 6 回）し絵本の世界の楽しさを発信し、中央図書館に依頼し絵本の読み語りをする。	

* 補足資料の欄は、大きさを変えていただいてもかまいません。